



国文
特別図書
1965年度

国文
24L
164 3



40. 8. 26
7306531



マテフカ
万果小路中納言
藤原良等
本田二郎豊推



取はらぬ

宇市ハ
墓の遠

雨夜

赤南

曾良



朝臣
行房

藤原
吉田女将

良等
泡池七郎宗利



蛇喰

雉子の

翁



行路難在不平
 唯水在人
 情及覆
 白居易



吉田女將行房
 北之方
 班女前

人生勿作
 婦人
 百年
 苦樂
 他人
 因



万里小路中納言
 藤房御中
 千歳前



梅若姫

行房
息女



松若姫

藤房卿
息女

葛城山賊徒
天物草根
度六共衛

佳人一段好風流
花滿春城月滿
樓露出娘生真面目
綺羅小扇不遮頭

粟の穂や舟平
數奈の娘女所花



大 功 不 東 化 付 花 領
 功 宰 皇 分 梅 管 春

家集 定家
 夕のうや
 さくら梅の
 相あひ
 つゆの
 玉川の里



おののちやう作

暖 紅 櫻 雲 辺 景 時
 日 霞 碧 無 光 一 新

おんあんな七





梅のついで
さきついで
さきついで



さきついで
さきついで
さきついで

さきついで
さきついで
さきついで



さきついで
さきついで
さきついで



大納言宜房卿



さきついで
さきついで
さきついで





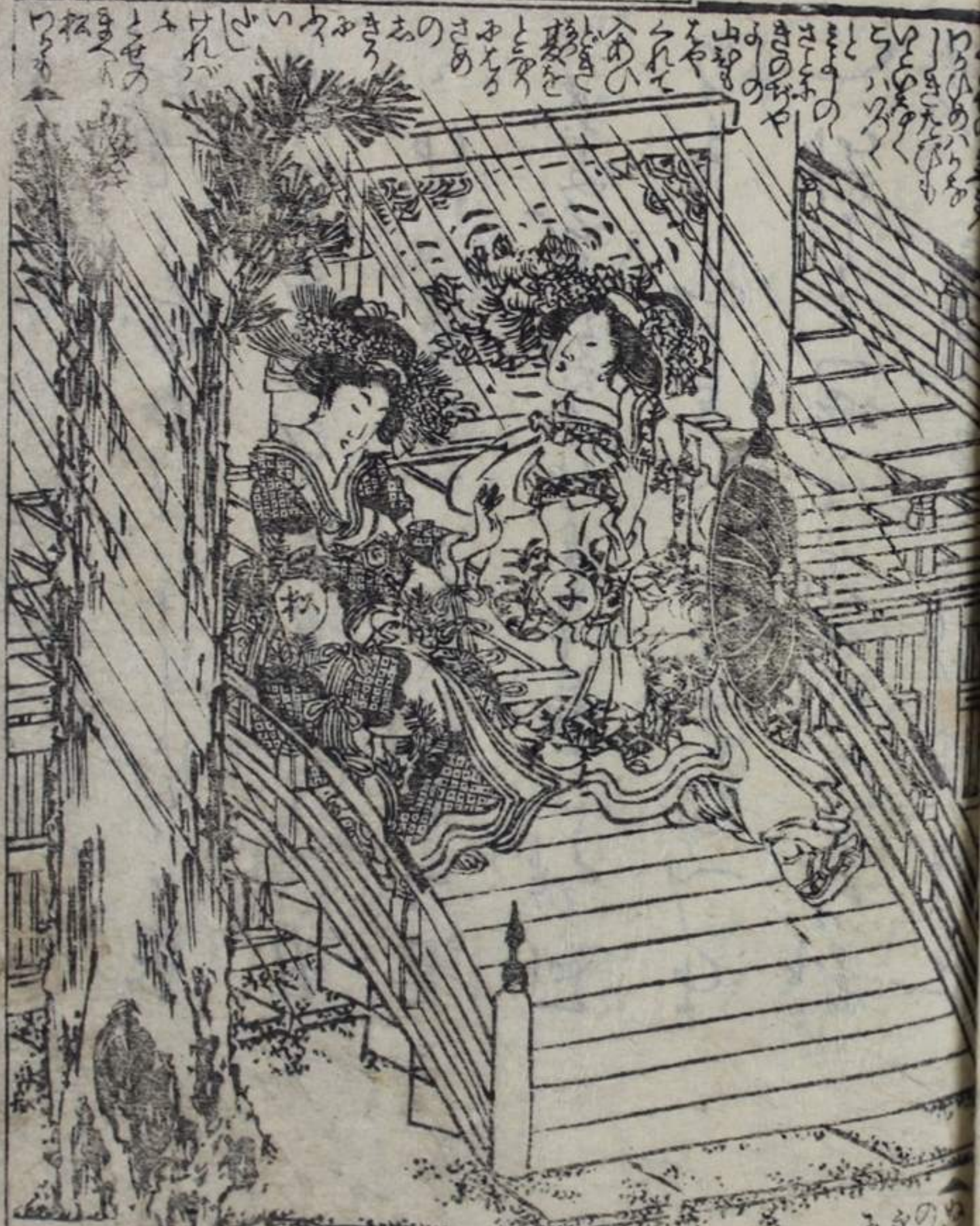
武田の
 武田の
 武田の

武田三年三月十五日
 武田の
 武田の
 武田の



武田の
 武田の
 武田の

前編 下巻



松の葉を
よせて
よせり
つる

いよたかき
いよたかき
いよたかき
いよたかき
いよたかき
いよたかき
いよたかき
いよたかき
いよたかき
いよたかき

あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ

あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ



あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ

あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ

あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ
あやめ



Handwritten Japanese text in vertical columns, interspersed with the illustrations. The text includes various characters and symbols, some of which are stylized or decorative.

Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the right page. The text is dense and appears to be a continuation of the narrative or dialogue from the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, interspersed with the illustrations on the right page. The text continues the narrative or dialogue.



井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま



七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま



七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま
 井のつらさを
 なげきしめて
 ながみしむるも
 七つ上のまのま

Handwritten text in the top left margin of the right page.



Handwritten text in the bottom right margin of the right page.

25

Vertical handwritten text in the top right margin of the left page.



Vertical handwritten text in the bottom right margin of the left page.



お月夜のゆきあ
 まれされはさうさ
 うさけの人おこれそ
 うさあせんせんせん
 非のたさささささ
 まさ人のちさあて
 うさささささささ
 人ささささささ
 りささささささ
 えんささささ
 あさささささ
 月夜の身入たさゆき
 月夜の身入たさゆき
 月夜の身入たさゆき



お月夜の
 ゆきあ
 ささ

お月夜のゆきあ
 まれされはさうさ
 うさけの人おこれそ
 うさあせんせんせん
 非のたさささささ
 まさ人のちさあて
 うさささささささ
 人ささささささ
 りささささささ
 えんささささ
 あさささささ
 月夜の身入たさゆき
 月夜の身入たさゆき
 月夜の身入たさゆき



お月夜のゆきあ
 まれされはさうさ
 うさけの人おこれそ
 うさあせんせんせん
 非のたさささささ
 まさ人のちさあて
 うさささささささ
 人ささささささ
 りささささささ
 えんささささ
 あさささささ
 月夜の身入たさゆき
 月夜の身入たさゆき
 月夜の身入たさゆき

東里山人作



集家

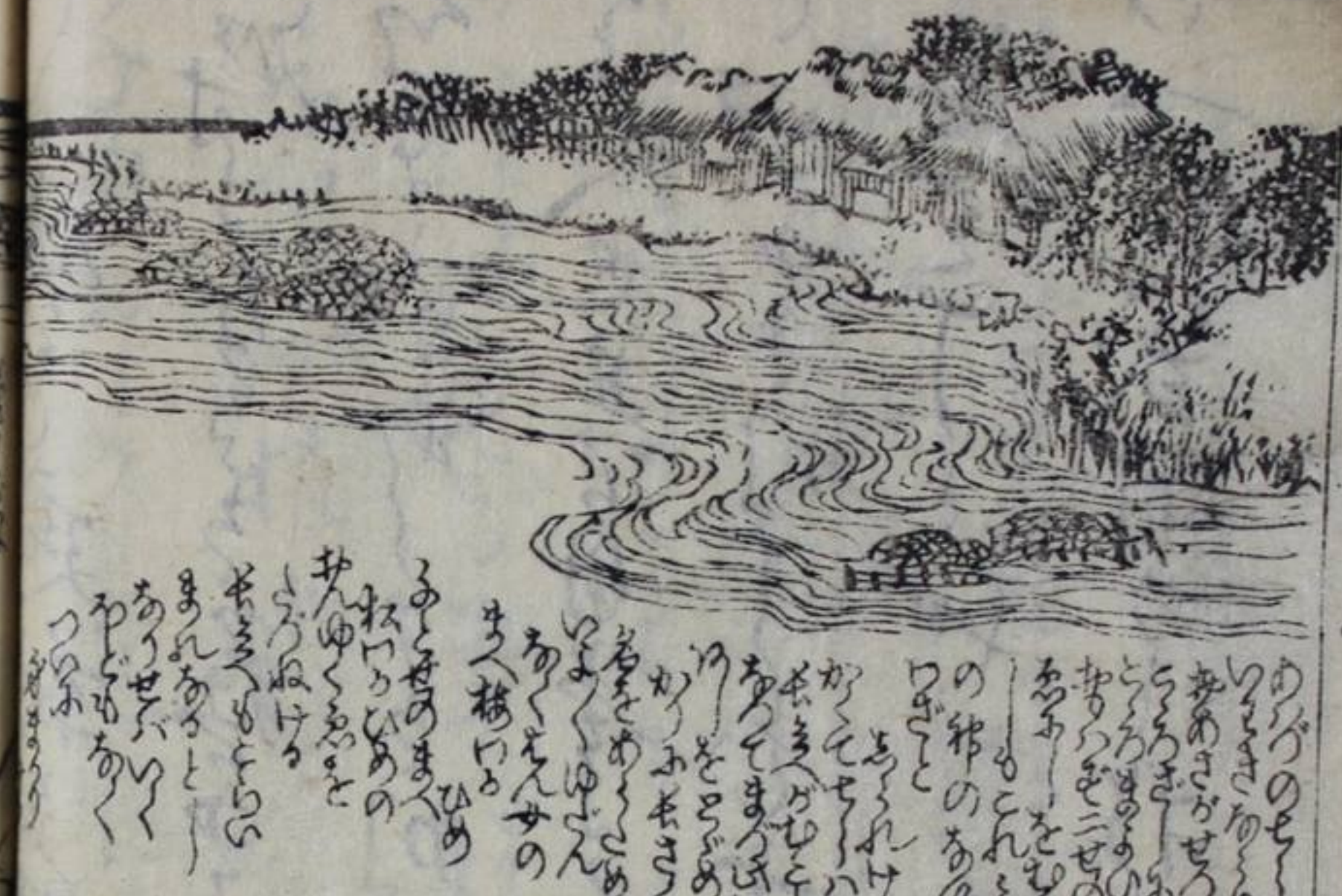
定家

玉川の里

あけぼのやまゆふ
のけしき
あけぼの
あけぼの

あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ

あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ



あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ
あけぼのやまゆふ



Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located on the right side of the right page, below the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle of the right page, between the two illustrations.



Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page.

後編中巻

東里山人
花中極
麗也
別是
...



三石の金
...

...

...

...



...

...



おのれを
かたじけなく
しるす

おのれを
かたじけなく
しるす
おのれを
かたじけなく
しるす

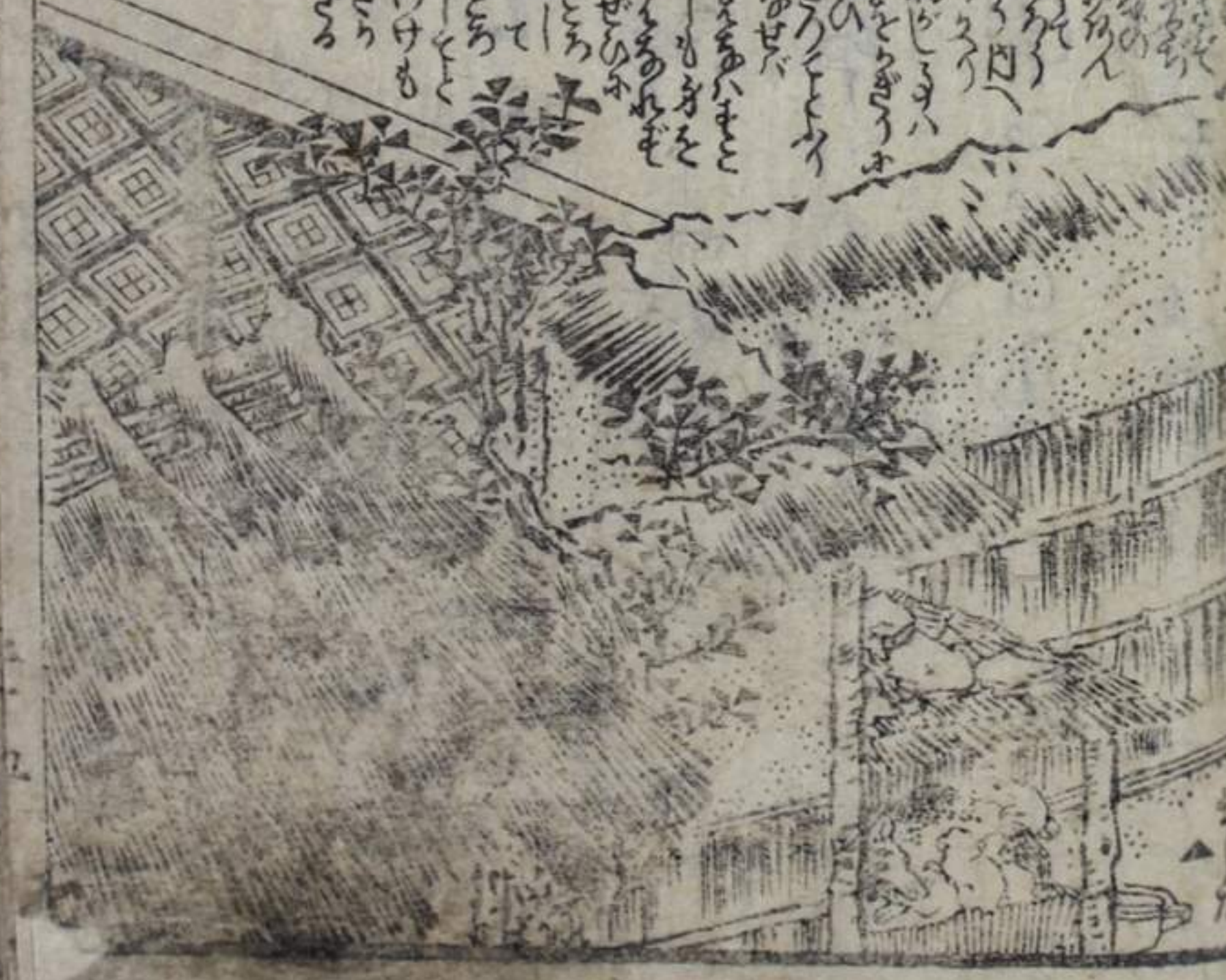
おのれを
かたじけなく
しるす
おのれを
かたじけなく
しるす

おのれを
かたじけなく
しるす
おのれを
かたじけなく
しるす



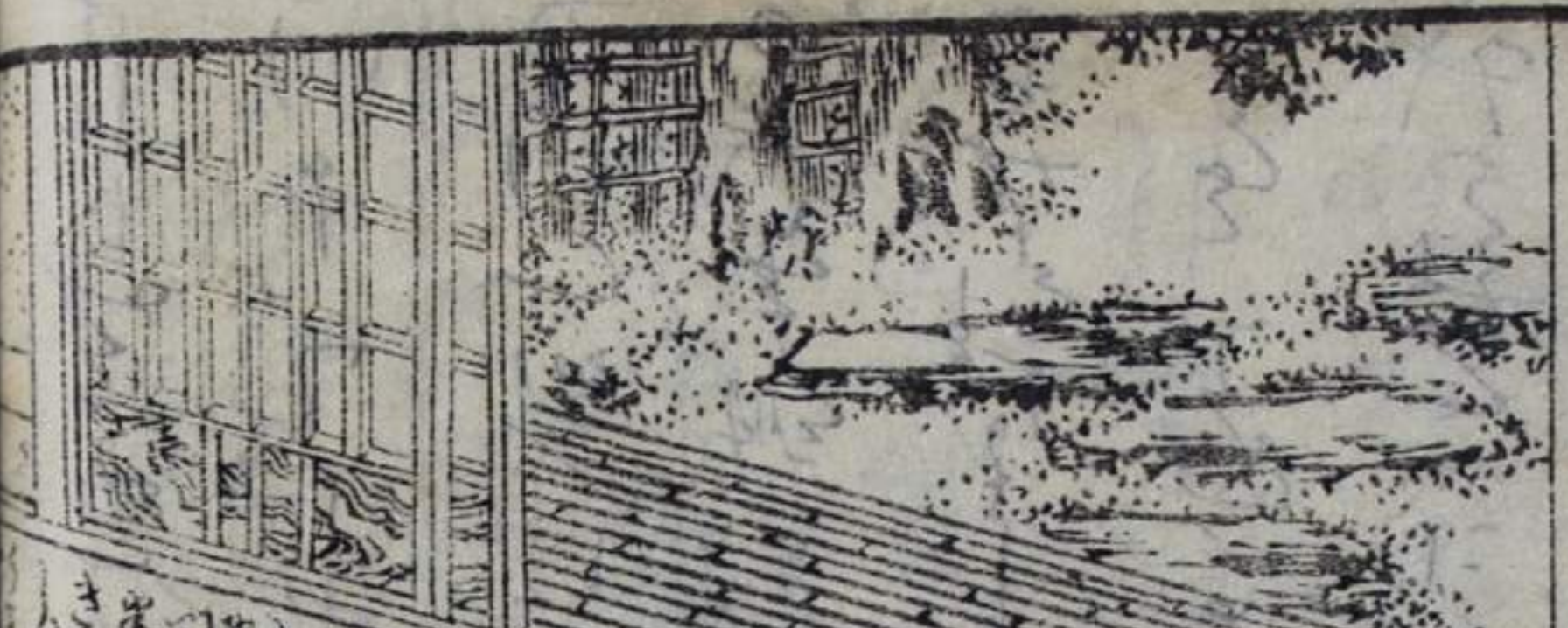
おのれを
かたじけなく
しるす

おのれを
かたじけなく
しるす

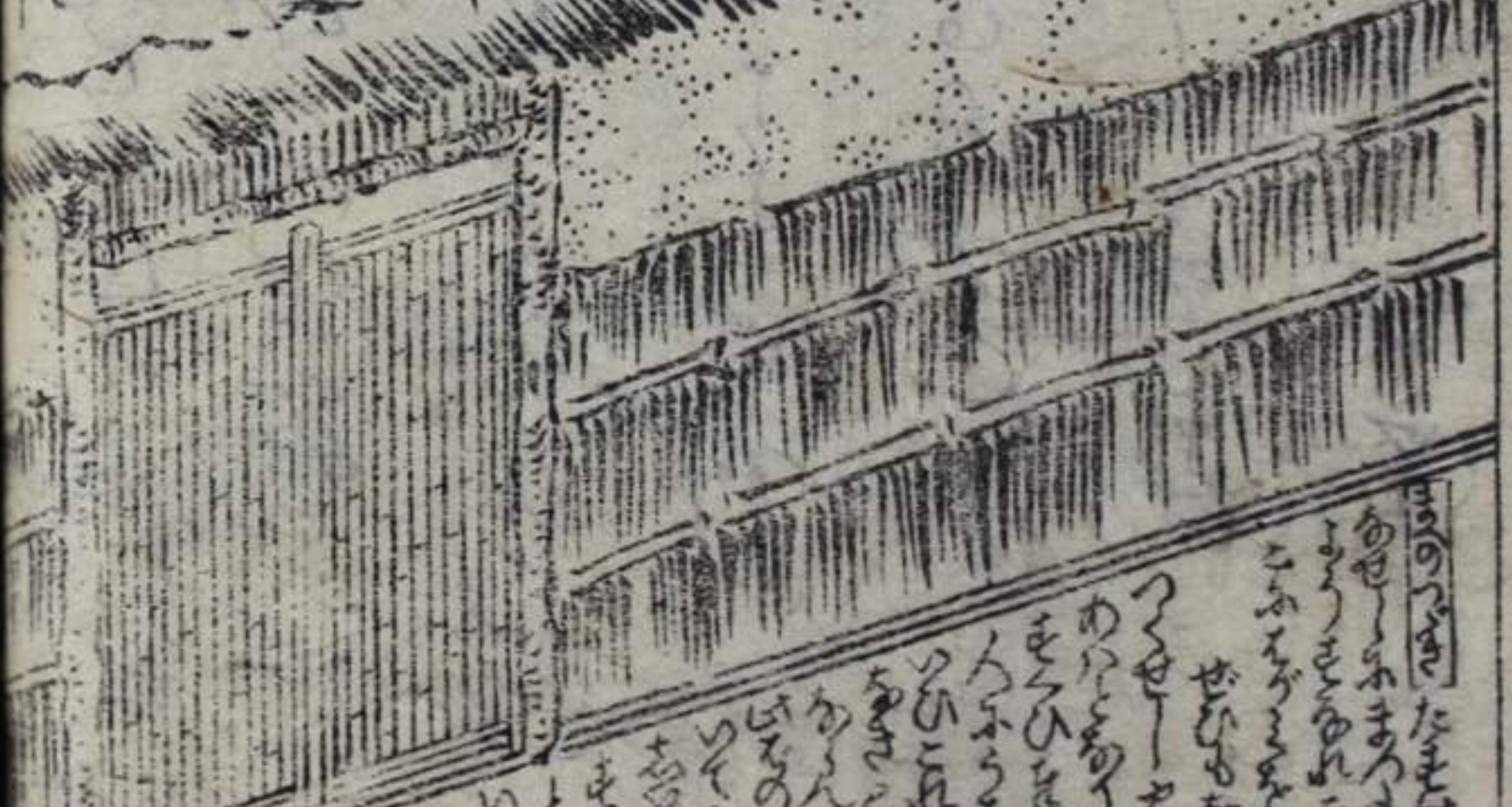


わがまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは

おのれ
のまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは



おのれ
のまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは



おのれ
のまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは
おのれ
のまは

おのれ
のまは



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of the scene above. The text is written in a dense, flowing style, characteristic of early modern Japanese calligraphy. It appears to be a narrative or a set of instructions related to the scene depicted in the illustration above.

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of the scene above. The text is written in a dense, flowing style, characteristic of early modern Japanese calligraphy. It appears to be a narrative or a set of instructions related to the scene depicted in the illustration above.



とたむとかせ
れいらくの
はしやのあつ
がましきぬ
のるや山び
ちと大んとぬ
階と玉とろと
せろをんし

吉田の... せん女の... 身... の... ち... けし



東里山人作

風流画半切

越前奉書紙 伊豫奉書紙

編むる所半切 かんむり半切

狂齋百圖全

狂齋画

上 狂齋百圖全 狂齋画

色の一色

極品の色 狂齋画

月緑包

水引の入り 狂齋画

忠臣義士銘々傳

一 猛齋芳虎画

少... 狂齋画... 忠臣義士銘々傳

當年 新板 狂齋百圖全

東... 子代紙... 狂齋百圖全

新板

氏者